

# 環濠パブリックWG vol.1

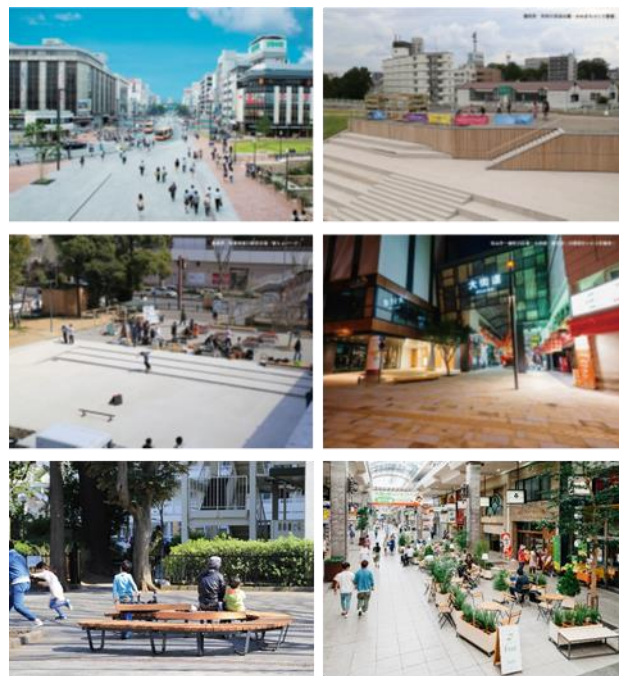
2022年8月24日

環

**SOCL inc.**  
public space design

## SOCl inc. public space design

まちと**相思**の関係をつくる  
公共を**総私**としてとらえる  
新しいデザインを**創始**する



公共空間における、都市計画、デザイン・設計、まちづくり・主体形成など、プロジェクトの上流から下流まで一気通貫で携わり、新しい時代のパブリックスペースを模索しながら、都市スケールから身体スケールまで、様々な「場」づくりを行っています。

# 自己紹介

- ・ 社会実験や市民WSを、確実にビジョンやプランに反映する
- ・ ビジョンから社会実験から空間整備まで一貫した、豊富な業務実績



姫路市／姫路駅北駅前広場・大手前通り



豊田市／都心地区空間デザイン監修



尼崎市／塚口駅南口広場の設計と社会実験



沼津市／中心市街地まちづくり戦略



沼津市／OPEN NUMAZU 2022 street



豊島区／グリーン大通りアクティビティ調査

## 【本日のスケジュール】

14:40～14:45 ご挨拶・背景

14:45～15:00 今年度の進め方について

15:00～15:30 意見交換

- **令和2年2月「堺グランドデザイン2040」**

20年後の堺の将来像や展望を示し、堺環濠エリアについて、環濠都市堺ならではの魅力を高め、国内外から人が訪れるエリアをめざしている。



- **令和3年度「堺環濠エリア等活性化検討」**

環濠エリアは、その特徴によりゾーンを整理、分類することができるが、エリアが広大なため、まず特徴ある個別ゾーン単位で「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を進めるものとして整理をおこなった。

# 背景

『堺グランドデザイン2040』に示される環濠を活かした水辺や歴史的なまちなみ、愛着を持てる個性あるエリアの実現のため、「居心地良く歩きたくなるまちなか」を公民で連携して目指します。



そのためには、

①公園や道路、お濠といった、現在使われていない公共的な空間を  
市民が使いこなし、日常的に人がいる風景を生み出します。

②そして、堺の他都市にはない、日本唯一の環濠の歴史と文化という  
資源を都市空間の魅力として表出するまちづくりが必要です。

**観光** + **暮らし**  
**プロモーション** + **日常的に人がいる風景**

## 方針①

堺を良くしたいという市民の意思を  
都市空間の質の向上に活かせる 「参加の形」 をデザインする

## 方針②

実践する目の前の一步を  
「欲しい未来」へとつなげるプロセスをつくる



単なる賑やかしいイベントではなく、市民が主体的に  
公共空間・環濠エリアに関わるためのWG及び社会実験を行う



## 事例 1 : 尼崎市

駅前広場の再整備に合わせて、新しくできる広場の使いこなしを、**作業WS**と**企画WS**で住民が実践。

→その後自主的な公共空間の使いこなしにつながる。



## 事例 1：尼崎市

駅前広場の再整備に合わせて、新しくできる広場の使いこなしを、**作業WS**と**企画WS**で住民が実践。

→その後自主的な公共空間の使いこなしにつながる。



## 事例 2 : 姫路市

姫路駅から続く大手前通りの利活用を地元団体（大手前まちづくり協議会）が実施。半年間以上、**長期で什器を設置**。  
→その後、道路空間における什器の常設につながる。



## 事例 2 : 姫路市

姫路駅から続く大手前通りの利活用を地元団体（大手前まちづくり協議会）が実施。半年間以上、**長期で什器を設置**。  
→その後、道路空間における什器の常設につながる。



# 環濠パブリックWG・社会実験について

- ・ 創造的に将来の姿を模索しながら現場の空間の使い方を構想する **環濠パブリックWG**
- ・ **自らが描く将来イメージを実現していく方法**を現場での空間体験を交えることで、参加者自身が考え、公共空間のあり方に理解を深め、使いこなす機運を高める。

**WG①：本日！！**



**WG②：社会実験プレ企画**  
環濠エリア内の魅力的な場所探しと体験



**社会実験：「環濠・オープンパブリック実験」**



**WG③：社会実験の結果を踏まえて、  
今後のアクションプランを一緒に考える**

●茶論メンバーの皆さんと顔合わせ

●今年度の実施内容についてご説明を行います。

# 環濠パブリックWG・社会実験について

- ・ 創造的に将来の姿を模索しながら現場の空間の使い方を構想する **環濠パブリックWG**
- ・ **自らが描く将来イメージを実現していく方法**を現場での空間体験を交えることで、参加者自身が考え、公共空間のあり方に理解を深め、使いこなす機運を高める。

WG①：本日！！



WG②：社会実験プレ企画  
環濠エリア内の魅力的な場所探しと体験



社会実験：「環濠・オープンパブリック実験」



WG③：社会実験の結果を踏まえて、  
今後のアクションプランを一緒に考える

●参加者：茶論メンバー、プレイヤー候補  
公募参加者、学生メンバー、  
環濠マイプレイスからの誘導  
計20～40名

- 1) あらかじめ、環濠の好きな場所をヒアリング
- 2) 3～4箇所程度のチームに分かれ、  
折りたたみ椅子を利用し、その場所で過ごしてみる。
- 3) 会議室に戻り、それぞれの場所にどのような可能性があるのか、そのためには何が必要かを議論。



# 環濠パブリックWG・社会実験について

- ・ 創造的に将来の姿を模索しながら現場の空間の使い方を構想する **環濠パブリックWG**
- ・ **自らが描く将来イメージを実現していく方法**を現場での空間体験を交えることで、参加者自身が考え、公共空間のあり方に理解を深め、使いこなす機運を高める。

WG①：本日！！



WG②：社会実験プレ企画  
環濠エリア内の魅力的な場所探しと体験



社会実験：「環濠・オープンパブリック実験」



WG③：社会実験の結果を踏まえて、  
今後のアクションプランを一緒に考える

## 11/12-13 開催予定！！

●参加者：WG②の参加メンバー

- 1) 第二回WGで議論したアイデアを  
実際の公共空間でチャレンジします
- 2) 自分達で公共空間を使いこなし、変えていけるとい  
う体験を共有し、欲しい暮らしは自分でつくるとい  
う認識を深めます。

## 社会実験企画：「環濠・オープンパブリック」実験



居心地をつくる基礎的な環境整備

+

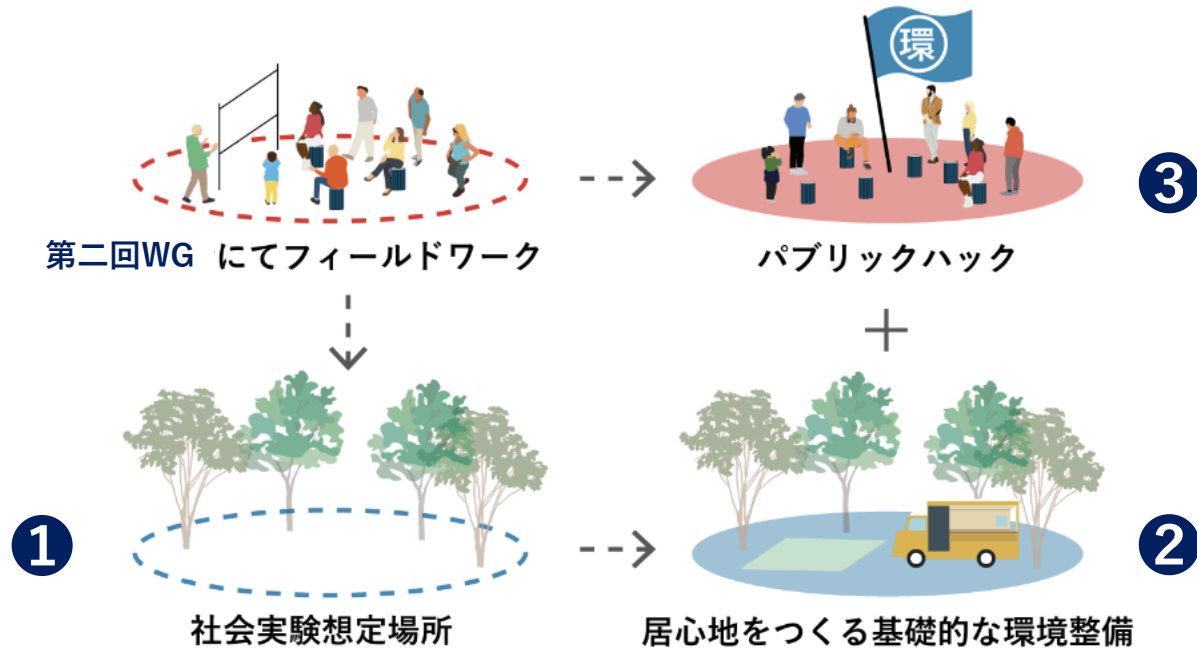


パブリックハック

- 社会実験を一時的な賑わいをつくるありふれた実験ではなく、公共空間を市民が自ら実際に利活用してみるというプレイヤーの育成・発掘と居心地のよい空間の体験をセットにした実験を行う。
- 市民主体の公共空間の利活用という 今後の流れをつくる初年度として位置付ける。



社会実験企画：「環濠・オープンパブリック」実験



- ① 第二回WGでのプレ企画により、社会実験想定場所を決定する。
- ② 人工芝やコーヒーの提供など、居心地をつくる基礎的な環境整備のみを行う。
- ③ 勉強会の内容と連携しながら、好きなこと／やってみたい使い方を実践する。  
⇒公共空間でやりたいことを自ら獲得する機会（パブリックハック）



- ③ WGの内容と連携しながら、好きなこと／やってみたい使い方を実践する。  
⇒折り畳み式ツールによる過ごし方の実践／事前の利活用希望の受け入れ  
⇒第二回WGメンバーのアイデアを実践し、一般利用者をおもてなし

# 環濠パブリックWG・社会実験について

- ・ 創造的に将来の姿を模索しながら現場の空間の使い方を構想する **環濠パブリックWG**
- ・ **自らが描く将来イメージを実現していく方法**を現場での空間体験を交えることで、参加者自身が考え、公共空間のあり方に理解を深め、使いこなす機運を高める。

WG①：本日！！



WG②：社会実験プレ企画  
環濠エリア内の魅力的な場所探しと体験



社会実験：「環濠・オープンパブリック実験」



WG③：社会実験の結果を踏まえて、  
今後のアクションプランを一緒に考える

- 社会実験の結果や知見を参加者と一緒にレビュー
- 参加者同士が連携しながら、  
次年度以降のアクションプランを検討
- アイデアはスケッチとともに、  
利活用アイデアブックとしてまとめておく。



## 環濠マイプレイスの募集

- ・ 環濠エリアの公共的な空間を対象に、お気に入りの場所を紹介してもらう
- ・ 市民が環濠エリアの公共空間を改めて意識するきっかけづくりとなる
- ・ 寄せられた情報は、google mapsなど誰にでもアクセスしやすいところに集約・可視化し、いつでも市民が閲覧できるようにする

⇒公共空間に係わることができる方法を多様化させる

⇒参加のハードルを下げ、市民が公共空間に係わる間口を広げる

**社会実験前の段階から市民と公共空間との心理的な距離を縮めます**

**意見交換をお願いします!!**

# 環濠パブリックWG vol.1

2022年8月24日

**SOCL inc.**  
public space design

